



2020年2月6日

各 位

会社名 東芝テック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池田隆之
 (コード番号: 6588 東)
 問合せ先 経営企画部 広報室長
 水野隆司
 (TEL 03-6830-9151)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年11月6日に公表した2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	480,000	20,000	18,000	12,000	218.36
今回発表予想 (B)	485,000	17,000	15,500	11,000	200.16
増減額 (B - A)	5,000	△3,000	△2,500	△1,000	
増減率 (%)	1.0	△15.0	△13.9	△8.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	476,824	17,989	16,471	11,211	204.00

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 業績予想修正の理由

売上高については、消費税率引き上げ及び軽減税率の実施に伴い、当第3四半期連結会計期間においても引き続き国内リテールソリューション事業の業績が好調に推移したことから、前回発表予想に比べて改善する見込みとなりました。一方、損益面については、当第3四半期連結会計期間において、米中貿易摩擦による複合機の買い控え及び価格競争の激化による販売価格の下落等により、プリンティングソリューション事業の損益が悪化したことなどから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想に比べて悪化する見込みとなりました。

これらを踏まえ、通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、当社は、海外事業を中心に損益改善のための更なる施策を策定するとともに、当該施策の実行に取り組んでまいります。

※ 上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(補足情報)

セグメント別連結売上高の予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)
	百万円	百万円	百万円		百万円
リテールソリューション	301,000	306,000	5,000	1.7	292,303
プリンティングソリューション	188,000	188,000	0	0.0	192,949
消去	△9,000	△9,000	0	0.0	△8,428
連結売上高	480,000	485,000	5,000	1.0	476,824

セグメント別連結営業利益の予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)
	百万円	百万円	百万円		百万円
リテールソリューション	15,000	15,000	0	0.0	12,323
プリンティングソリューション	5,000	2,000	△3,000	△60.0	5,666
連結営業利益	20,000	17,000	△3,000	△15.0	17,989

期中平均レートの予想

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)
	円	円	円		円
平均レート (US \$) 円	107.34	108.43	1.09	1.0	110.69
平均レート (EUR) 円	120.84	121.22	0.38	0.3	128.78

(注) 今回発表予想の第4四半期為替レートはUS \$ 107円、EUR 121円です。

— 以 上 —